

中頭指導行政の基本方針
重点目標

最多・最大の最高を追求する中頭教育の創造
～地域に根ざし、共に子供の育ちを保障する魅力ある学校づくり～

育成をめざす資質・能力
○実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」の習得
○未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成
○学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養

国・県の施策

- 学習指導要領(平成29年)
- 学習指導要領解説 特別の教科 道徳編(平成29年) 「考える道徳」「議論する道徳」
- 「道徳教育アーカイブ」(文部科学省)
- 学校教育における指導の努力点(令和5年度～令和9年度) 「3 道徳教育」「5 健やかな心と体を育む教育」
- 沖縄県学力向上推進5か年プランプロジェクトII
- 「沖縄県道徳教育パンフレット」
- 「問い」が生まれるサポートガイド(沖縄県教育委員会)
- 沖縄県教育振興基本計画(令和4年度～令和13年度)

重点事項「わったーわらび」の学力保障と成長保障

長期目標: 持続可能な社会の創り手となる幼児児童生徒の育成
総括目標: 幼児児童生徒一人一人に「生きる力」の基盤となる新しい時代をつくるために必要とされる資質・能力を育む。

基本方針

- 1 「特別の教科 道徳」を要として学校の教育活動全体を通じて行う「豊かな心」の育成
- 2 学校の指導体制の改善・組織文化の創造
- 3 学校、家庭、地域、関係機関との連携・協働

取組事項

- 1 子供の「居場所づくり」と「絆づくり」の推進
- 2 道徳的価値の自覚を深める授業の充実
- 3 豊かな人間性を育む人権教育の充実
- 4 発達の段階に応じたキャリア教育の推進

令和4年度の状況

(全国学調R4児童生徒質問紙調査より)
※「当てはまる」のみ集計
【学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる】
・小学校 32.8% (県33.4%、全国37.7%)
・中学校 29.4% (県30.7%、全国34.1%)

(中頭地区道徳推進教師によるアンケート調査より)
【各校で別葉を活用しているか】
あまり活用していない、活用していないと回答⇒小・中学校共に40%近く

家庭の取組

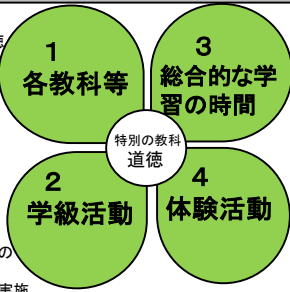
- 規則正しい生活リズムの確立
- スマホ等の利用ルールづくり
- 学習習慣の確立
- ファミリー読書の推進

地域の取組

- 青少年健全育成の日奨励
- 放課後子ども教室推進事業
- 地域学校協働活動推進事業
- CGG運動
- 体験学習等への連携・協力

学校の取組

「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育の推進!!



1 各教科等

- 各教科等の特質に応じた道徳性の育成
- キャリア教育の視点を踏まえた授業
- 自己有用感に支えられたよさの伸長
- 豊かな人間関係づくり

2 学級活動

- 【学級活動の内容に応じた指導】
- 年間指導計画
- 話し合い活動
- 話し合い活動・実践・振り返りの学習過程の展開
- ガイダンス、カウンセリングの実施

3 総合的な学習の時間

- 【自己の生き方を考える】
- 全体計画や年間指導計画等の改善・充実
- 職場見学、職場体験の実施
- 保護者や地域社会の理解と協力

4 体験活動

- 【道徳性を育成する体験活動】
- 生命の尊さを感じる体験
- 幼児等と触れ合う体験
- ボランティア活動や自然体験活動

○学校の活性化に
効果の期待できる取組

- 1 校長講話(めざす姿の共有)
- 2 指導案作成と授業実践
- 3 授業を補完する取組
- 4 五者会等へ学校事務職員が参加
- 5 学校評価の分析・活用
- 6 校長による授業参観と助言
- 7 評価システム面談にてめざす姿等の確認
- 8 校内教育支援委員会の充実

○教師の「3つの視座」に基づく教育の推進

- 第1視座 組織的な聞くことのしつけ
- 第2視座 主体的な学びづくり
子供のエネルギーを活用した活動づくり
- 第3視座 子供の自分の信頼を高める「勇気づけ」

「学びの質」を高める「子供視点」の授業改善(道徳科)

～答えが一つでない課題に子供達が積極的に向かい合い「考え・議論する」道徳教育の充実～

	視点1 自己肯定感の高まり	視点2 学び・育ちの実感	視点3 組織的な関わり	改善ツール等
方策1 日常化する 【質的授業改善】	○道徳的価値に迫る読み物の活用や、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習など質の高い多様な指導法を取り入れた授業を全職員で展開 ○「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに自分と異なる意見をもつ他者と議論することを通して道徳的価値を多面的・多角的に考える。 ○他者との合意形成や具体的な解決策を得ること自体が目的ではなく多面的・多角的な思考を通じて道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める。	○評価の視点・観点をそろえる ○ローテーション授業の実施	○授業における基本事項 ○授業プランシート ○別葉の活用	
方策2 そろえる 【組織的共通実践】	○調査分析に基づく児童・生徒の実態認識を共有 ○ガイダンスとカウンセリング機能の充実	○確かな児童・生徒理解 ○学びに向かう集団づくり ○学習規律の徹底 ○客観的な資料による学級の実態把握(Q-Uテスト、i-check、児童生徒質問紙など)	○授業スタンダード等 ○アセスメント調査分析等	
方策3 支える 【発達の支援】	○支持的な風土をつくる学級経営 ○学びに向かう集団づくり ○客観的な資料による学級の実態把握(Q-Uテスト、i-check、児童生徒質問紙など)	○学校課題の解決に向けた組織マネジメント機能高める。 ○「学力向上」と「生徒指導」を一体化した年間計画(年間サイクル)の作成	○キャリアパスポート ○不登校児童生徒への支援の手引き	
方策4 見通す 【学校組織マネジメント】	○学校課題の解決に向けた組織マネジメント機能高める。 ○「学力向上」と「生徒指導」を一体化した年間計画(年間サイクル)の作成	○学校・家庭・地域の連携	○学校デザインシート ○ルーブリック、フォーカス	
方策5 つなぐ 【学校連携・地域連携】	○市町村教育委員会による特色を生かした施策推進による学校づくり ○キャリア教育の視点を踏まえた校種間連携 ○研究指定校の実践波及、研究発表会への参加	○学校・家庭・地域の連携	○学校運営協議会制度 ○キャリアパスポート	

カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進

～ 社会に開かれた教育課程の実現 ～

中頭地区学力向上推進委員会
【共通課題・共通実践事項】

しっかり教える

じっくり考え、させてみる

たっぶり価値つける

子供自身が自分の信頼を高める「勇気づけ」 「主体的・対話的で深い学び」 「学び規律づくり」 よりよい学校・学級をめざす組織的な活動(支持的風土の醸成)

自己肯定感の高まり 「承認」

① 統一 発達段階に応じて学級経営や教科経営の内容・方法を統一し、校内で組織的に進める

② 徹底 評価と指導・支援を繰り返して定着するまであきらめない

③ 連動 学校におけるすべての指導を連動させ、一貫した方針による授業を実践する

④ 評価 取り組みの進捗状況を定期的に点検・評価し、課題については新たな改善策を講じる

学び合う教職員の資質・能力向上

チーム学校づくりの推進